

広島市立己斐上中学校 KUデザイン チェックリスト

記入者	
-----	--

平成 年 月 日()

	かなりやっ ている	やっている	たまにやっ ている	ほとんど やっていな い
1 見通しを持たせる工夫				
① 時間どおりに始めて、時間どおりに終わる。 (見通し、心理的安定)				
② 授業の「めあて」を示す。 (見通し、心理的安定、目的理解)				
③ 授業の「流れ・スケジュール」を示す。 (見通し、心理的安定、目的理解)				
④ 授業の流れをパターン化する。 (見通し、心理的安定)				
2 指示・説明・発問の工夫				
① 意見や質問は挙手をし、許可を得てから話をさせる。 (授業のルールの確立)				
② 注目させて、私語や作業を止めさせてから、指示を出す。 (注意の選択・集中)				
③ 指示を出した後は、理解したかどうか全体の様子を確認する。 (指示理解の把握)				
④ 理解・記憶を助ける指示を出す。 (短期記憶や予測、集中を助ける) ※ 下記の例を参照				
3 視覚的な情報提示の工夫				
① 黒板の周りには必要な掲示物だけを貼る。 (注意の選択・集中)				
② 黒板には必要なことだけを書く。 (注意の選択・集中)				
③ 板書等に視覚的な手がかりを用いる。 (注意の選択・集中) [例:色を変える 囲む マグネットシート等の視覚的な支援]				
④ 黒板を分割して使う。 (注意の選択・集中)				
4 指導方法等の工夫				
① 表現の仕方(話す・書く)のモデルを示す。 (表現方法を知る)				
② 複数の感覚を活用する (見る、話す、聞く、書く、動く、操作する等)				
③ 活動に変化を付ける。 (作業や動きを取り入れる等⇒注意の選択・集中)				
④ 授業に複数の活動(内容・難易度)を取り入れる。 (注意の持続、一つは得意な活動を)				

気付き

2 指示・説明・発問の工夫 ※④ 理解・記憶を助ける指示を出す。〈例〉

- 指示は一つずつ出す。(短期記憶を助ける)
- 話す前に事前に予告する。(予測・注意の集中を助ける) 例:「3つのことを話します」「〇〇について話します」
- キーワードを書いて示す。(短期記憶を助ける)
- 具体的な指示を出す。(指示理解を助ける) 例:ちょっと待つ⇒1分待つ